

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2026年本屋大賞

# 本屋大賞

全国の書店員の投票で選ばれたベスト

10

2024年12月〜2025年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ(日経BP 日本経済新聞出版)

2位

『熟柿』

佐藤正午(KADOKAWA)

3位

『PRIZEープライズー』

村山由佳(文藝春秋)

4位

『エピクロスの処方箋』

夏川草介(水鈴社)

5位

『暁星』

湊かなえ(双葉社)

6位

『殺し屋の営業術』

野宮有(講談社)

7位

『ありか』

瀬尾まいこ(水鈴社)

8位

『探偵小石は恋しない』

森バジル(小学館)

9位

『失われた貌』

櫻田智也(新潮社)

10位

『さよならジャバウオック』

伊坂幸太郎(双葉社)

NOLTY®

Supported by

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。